

HELLO!!!



外国人指導助手
ポール・ダイボール

わたしたちの町を守って……

内子町の皆さん、こんにちは。

7月に、わたしは家族を連れてオーストラリアに帰国します。だから今回が最後の記事になります。皆さんの温かい歓迎のおかげで、内子町で過ごした3年間は素晴らしいものとなりました。またいつか皆さんと会えることを願っています。

では、「わたしたちの町を守って……」の第2弾をお話ししましょう。

内子のような町ではどのように仕事を生み出すべきだと思いますか？ 結局のところ、仕事を探すために、ほとんどの人が故郷を離れてしまう、というのが現実ではないでしょうか。

◎管理機能のアウトソーシング (外部委託)

テクノロジー（科学技術）が発達した現代では、場所柄に依存しない業種がたくさんあります。例えば、教育やIT関連、会計処理、情報の記録管理など、さまざまな事務処理業務があり、それらは店頭から離れた場所で行うことができます。

テクノロジーを駆使することにより、企業はデータ入力、請求処理や伝票発行といった事務処理業務を海外にある会社に発注しています。では、海外で行っていることを地方で行うことはできないのでしょうか？ 可能になれば大きな経費削減が見込めるはずです。パソコンを使うことで、オンラインで保険請求、データ入力、伝票発行といった事務処理の仕事ができます。うまくすると、内子町で仕事を創出し、国内に埋もれている仕事を確保することができる

のです。先のような業務について、松山市、大洲市、宇和島市、はたまた東京の企業から発注の誘いがあるかもしれません。

このほかにもホテルやレンタカーの予約業務、患者や高齢者の監視といったオンライン業務も、訓練によって行えるようになります。（インドにはアメリカの保険会社に患者を監視するサービスを提供する会社があります。）このようなオンラインサービスは、主婦などが家に居ながらにして比較的手軽に携わることができるでしょう。

これを機能させるためには、行政が地方でのアウトソーシングを推し進める必要があるでしょう。大きな企業が仕事を海外に送る代わりに、事務処理業務を国内の地方の企業や個人に委託します。そうすると、会社にもたくさんのメリットが生まれます。地方などの労働者の給料は、高度なオフィス環境を持った企業とは30%ほどの開きがあるといくつかの調査で指摘されています。ある特定の企業は、上で挙げた業務を提供することができるでしょう。地方へのアウトソーシングは、未来のアウトソーシングとなるはずです。（例えばアメリカのアーカンソー州やノースカロライナ州では、上記のような地方へのアウトソーシングの成功事例を多数見ることができます。）

◎学園都市

町の経済や社会生活に大きな関わりを持つために、アメリカには学園都市、または大学町と呼ばれている町があります。内子町は宇和島市ま

たは大洲市と松山市の間に位置し、JR駅もあり、その意味で申し分ない場所です。もし内子町が大学や私立学校などへ用地を100年ほど貸し出すとしたら、大学などはこの地域で校舎を建てることに関心を示すかもしれません。町のビジネスはそれによって生まれるサービスを促進させること、になります。

◎風変わりなビジネス

一風変わったビジネスを発展させることも可能でしょう。わたしの故郷パースには、ウォータースキーパークとウェーブパークがあります。ウォータースキーパークは水上スキーヤーに、ウェーブパークはサーファーやボディボーダーに人気があります。このようなスポーツを学ぶにはもってこいの場所です。「でも、内子は海が遠いんじゃない？」と考えるかもしれません。でも心配ご無用。これらの施設は内陸にあるものなのです。そして季節に関係なく使うことができます。このような施設が町内にあったら、近隣市町の人には間違いなく気に入ってもらえるはずです。

さて、「広報うちこ」でのわたしの考察も、残りわずかになりました。3年間にわたって書きつづった記事を読んで、楽しんでいただけたなら本望です。中には皆さんの好みに合わないテーマもあったかもしれませんが、いつも自分の正直な考えをお伝えすることを心がけていました。いつの日か、お会いできることを願っています。

さようなら。